



まだ誰も知らない安心を、ともに。

〒150-8488 東京都渋谷区恵比寿 1-28-1
www.aioinissaydowa.co.jp**車も搭乗者も安全・安心に通れる道を可視化した「いたわりルートマップ」を公開
～テレマティクスデータを活用した令和 8 年熊本地震の復興支援～**

2026年8月24日

MS&ADインシュアランス グループのあいおいニッセイ同和損害保険株式会社（代表取締役社長：新納 啓介）は、テレマティクス自動車保険の自動車走行データを活用し、令和 8 年熊本地震によって災害救助法が適用された地域の「通行可能な道路」や「振動（損傷）が少ない道路」を可視化した「いたわりルートマップ」を作成し、2026 年 8 月 25 日（火）より当社オウンドメディア「hints!」※¹上で無償公開します。

※¹ <https://webmedia.aioinissaydowa.co.jp/>**1. 背景**

令和 8 年熊本地震の災害救助法適用地域等では、土砂崩れや落石等の影響で道路が寸断されている箇所に加え、通行可能な道路においても損傷等により通行の安全性が懸念される箇所が多数あります。

そこで当社は、200 万台を超える当社テレマティクス自動車保険の走行データを活かし、従来から被災自治体向けに提供している「路面状況把握システム・災害復旧支援プラン」※²に加え、「通行可能な道路」や「振動（損傷）が少ない道路」を可視化した「いたわりルートマップ」を無償公開することとしました。

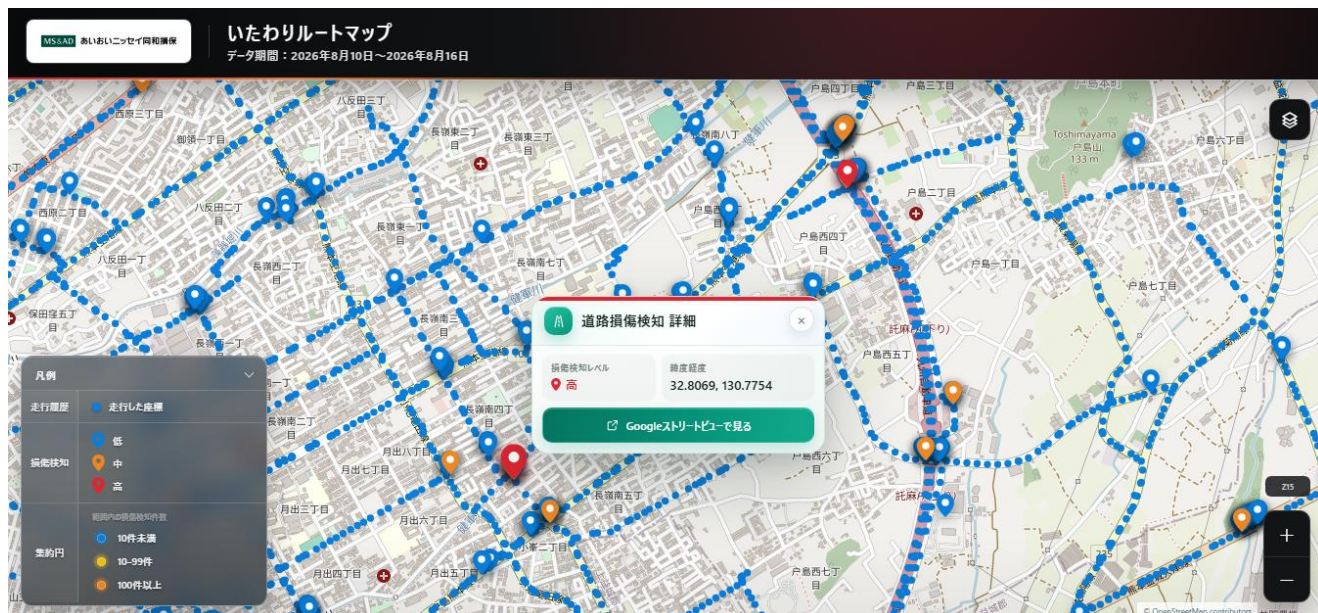
※² https://www.aioinissaydowa.co.jp/corporate/about/news/pdf/2024/news_2024022001274.pdf**2. 概要**

「いたわりルートマップ」は、当社のテレマティクス自動車保険より取得した走行データ※³をもとに、「通行可能な道路」※⁴を表示します。また、走行速度・加速度・上下振動などの分析を通じ、車両が受けた衝撃や振動状況を可視化することで路面の異常箇所を検出し、「どの道なら安全・安心に移動できるのか」を把握することが可能となります。

当社は、緊急車両や復旧作業に従事される方、小さな子どもや高齢者などを乗せて運転される方々の「振動（損傷）が少ない」ルート選択を支援することで、安全・安心な移動を後押しするとともに、災害による二次被害の発生防止を目指します。

※³ 個人情報を含まない形で自動車走行データの加工・統計化を実施※⁴ 2026 年 8 月 10 日以降に当社テレマティクス自動車保険の走行データが検知された道路

<いたわりルートマップの画面イメージ>



公開日	2026 年 8 月 25 日（火）
対象地域	令和 8 年熊本地震の被災地域（災害救助法適用地域）
内容	テレマティクスデータを統計加工し、以下をマップ上に可視化 ・車両の上下振動データに基づく「車両が衝撃や振動を検知した箇所」 ・車両の走行データに基づく「車両が走行している箇所」
提供方法	当社オウンドメディア「hints!」上で WEB 公開（無償・登録不要） https://webmedia.aioinissaydowa.co.jp/ また、当社が提供するアプリ （cmap、あいおいニッセイ同和損保アプリ等）を 通じた情報提供も実施します。 ※本情報は道路状況の把握を支援する参考情報であり、通行可否や 安全性を保証するものではありません

二次元コード



3. 今後の展開

当社は災害により被害を受けた道路の早期復旧への貢献を目指し、今後、大規模災害によって災害救助法が適用された地域においても、本マップの提供を検討していきます。

以上

当社は、社会との共通価値を創造し、目指す社会像である「レジリエントでサステナブルな社会」を実現するため、SDGs（持続可能な開発目標）を道しるべとし、地域の皆さまに貢献する活動を行ってまいります。



あいおいニッセイ同和損保は、「CSV×DXを通じて、お客さま・地域・社会の未来を支えつづける」ことを目指しています。最先端・独自の技術やデジタル・データの活用、特色あるパートナーとの協業により、お客さま・地域・社会が真に求める新たな価値を提供していきます。また、国内外のあらゆる事業を通じて、お客さま・地域・社会とともに社会・地域課題の解決にグローバルに取り組めます。

